

HEMSに係る政府の指標・導入見通し等の記載②

- 平成27年の「長期エネルギー需給の見通し」では対象機器が“HEMS、スマートメーター”であった
- 令和3年度の2030年度の需給見通しでは新たにスマートホームデバイスが追加された。また、2030年度のHEMS等の導入見通しも100%から85%に引き下げられた。

省エネルギー対策名	導入見通し 2022FY	導入見通し 2030FY	導入見通し 2030FY	省エネルギー 20%		達成率	達成率		備考
				見直し前	見直し後		2022FY	2030FY	
HEMS・スマートメーター 利用した家庭部門における 総合的なエネルギー管理の実施	0.2%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	住宅内の空調や照明等に関するエネルギー管理に対し、見直しを行うと同時に、需要に応じた最適運転を行うHomeArea Energy Management Systemの導入により2024年度達成見込み。

省エネルギー対策名	導入見通し 2022FY	導入見通し 2030FY	達成率	省エネルギー 20%		達成率	見直し後 省エネルギー内訳		備考
				見直し前	見直し後		2022FY	2030FY	
HEMS・スマートメーター スマートホームデバイスの導入 や省エネルギー情報提供 を通じた総合的なエネルギー 管理の実施	0.2%	85%	100%	100%	100%	100%	100%	24.0	HEMS、スマートメーター、スマートホームデバイスの導入による家庭のエネルギー消費状況の詳細な把握と、これを実現した機器の制御による電力消費量の削減及び、エネルギー小売事業者による情報提供を通じた家庭の省エネ行動の促進を図る。 ※以下の値及び状況を確認し、普及見込みを修正。また、スマートデバイス等の新たな技術の普及を考慮し、対象機器の範囲を拡大。加えて、エネルギー小売事業者による一般消費者への省エネ情報提供による省エネ効果を追加。

長期エネルギー需給見通し 関連資料（平成27年7月16日 資源エネルギー庁）
https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/mitoshi/pdf/report_02.pdf

2030年度におけるエネルギー需給の見通し（令和3年10月 資源エネルギー庁）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/pdf/20211022_03.pdf

HEMSに係る政府の指標・導入見通し等の記載③

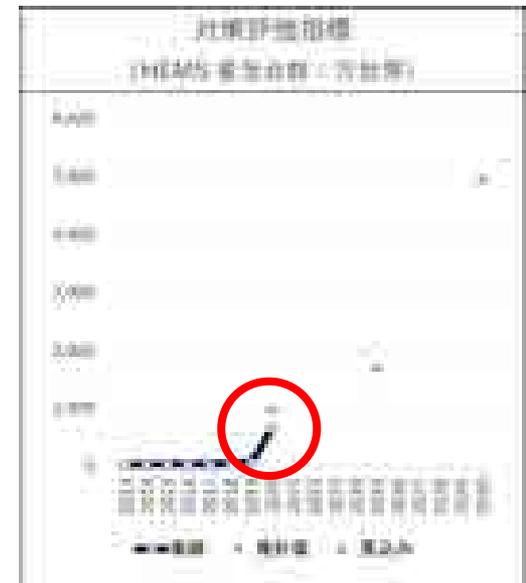
- 「2020年度における地球温暖化対策計画の進捗状況」において、HEMSの導入世帯数の指標が定められている。この点、2019年度までは「HEMS」の導入世帯数のみの指標であったのが、「2020年度からはHEMSの導入世帯数に加え、スマートホームデバイスの導入世帯数を含む。」とされている。これにより2020年度の導入世帯数は前年の10倍以上となっている。
- なお、このHEMSの導入世帯数については、「業界団体（エコーネットコンソーシアム）からのECHONET Lite機器出荷台数（HEMSコントローラー）調査結果より。」と記載されている。

		単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
対策評価指標 HEMS普及世帯	万世帯	実績	21.0	25.2	31.0	37.8	42.1	51.0	62.4	646.8
		見込み								

「2020年度における地球温暖化対策計画の進捗状況」の「対策評価指標」に関する記載。以下の部分が赤枠で強調されている。

「2020年度からはHEMSの導入世帯数に加え、スマートホームデバイスの導入世帯数を含む。」

「業界団体（エコーネットコンソーシアム）からのECHONET Lite機器出荷台数（HEMSコントローラー）調査結果より。」



その他参考資料

主な用語について

○スマートホーム

IoTやAIなどを活用してより快適な生活を実現する住宅のこと。家電をスマートフォンやスマートスピーカーなどで操作することや家庭用蓄電池や太陽光発電を制御することも含まれる。

○ZEH

net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語で、「エネルギー収支をゼロ以下にする家」という意味。家庭で使用するエネルギーと太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家ということ。

○HEMS

Home Energy Management System（ホームエネルギーマネジメントシステム）の略語でスマートメーターを活用して家庭内で消費するエネルギーを「見える化」及び管理できるシステムのこと。ZEHやスマートホームを構成するために重要なシステム。HEMSコントローラー（住宅内の各機器と相互に通信し、それら機器の制御を行うHEMSの中核となるコントローラー）と蓄電池、エコキュート、エアコンなどをつなぎ、エネルギーの収支を監視・制御することで住宅のエネルギーマネジメントが実現できる。

○ECHONET Lite

HEMSコントローラーと各家電、スマートメーターをつなぐための通信規格。

○インターフェース

異なる2つの機器をつなぐもの。USB端子やLANケーブルの端子など物理的なものからコンピューターとプログラムの間をつなぐものもこれに該当する。

○API

Application Programming Interface（アプリケーションプログラミングインターフェース）の略語。インターフェースの一種で、異なるソフトウェアやプログラムをつなぎ、やり取りを行うもの。

○Matter

米国のCSA（Connectivity Standards Alliance）が取り組むIoTデバイスをつなぐ通信規格。

Amazon、Google、Appleなど米国のメーカーやヨーロッパや中国、韓国など250以上の企業が参画しており、世界的な取組となりつつある。日本企業も複数参加している。